

—総括表—

◆ 事業計画

<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性	
<p>担当地区である希望が丘地区、希望が丘南地区は、住民の方々が活発に福祉活動に取り組まれている地域です。住宅の多い地区で、昨今は若い世帯の転入も増えています。今後の方向性として、高齢化率の上昇に伴い「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を推進していきます。また、地域の会議やイベントに参加することで、アセスメントの機会を多くもちニーズを把握し、事業の企画や講座へ反映していきます。必要とされる情報発信を行い、総合相談窓口としての役割を果たしていきます。</p> <p>様々な専門機関と連携し、地域活動やボランティア団体の活動を支援し、支え合えるネットワークの輪作りに取り組んでいきます。</p>	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
—具体的な取組内容—	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 横浜市チームオレンジモデル事業を今年度と来年度にかけて取り組み、今ある既存の認知症カフェやサポーター養成講座を受けた方、商店会、金融機関、事業所、本人、家族とチームを作り、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指します。まずはネットワークを構築し、最終的には住民主体の活動となるよう、推進していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 希望が丘地区の第4期地域福祉保健計画の目標Cでもある「ちょっとした困りごとを地域で解決」に対し、必要な生活支援を考えるための協議体を立ち上げ、以前行ったアンケート調査等を参考にしながら、地域住民とともに活動の発展につなげていきます。また、保健活動推進委員やスポーツ推進委員などに働きかけ、「公園で体操」など介護予防の参加をうながし、コロナで出ることが難しくなっている高齢者などの社会参加の機会を作ります。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ケアプラザで開催している「こどもの居場所かけはし」では事業内容に共感した地域住民のボランティアによって成り立っています。希望が丘南地区の第4期地域計画の目標Cにあるように、「地域活動の見える化」「自ら参加したくなる地域活動」に対し、「こどもの居場所づくりとは？（仮）」というおしゃべり座談会のようなものを開催し、地域住民が関心を持てる機会を継続して提供していきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ケアプラザの機能の周知を行き渡らせるための活動として、連合に所属していない自治会エリアの方や、自治会に所属していない方等を対象に、積極的に地域の活動に参加したり、戸別訪問・出張相談等のアウトリーチの企画を実施していきます。また、ICTの活用を促進を通し、SNS等の媒体を使った幅広い世代へのケアプラザの周知を検討・企画していきます。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

◆ 事業報告・事業実績評価

<input type="checkbox"/> 振り返り
<input type="checkbox"/> 区からのコメント

令和4年度横浜市南希望が丘ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	相談援助の際は、利用者の視点に立った対応を心掛け相談対応にあたります。複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けた上で、相談者の意志を尊重し、選定判断出来るよう公正中立な運営に努めます。	「個人情報保護」「人権擁護」など福祉従事者に必要とされる研修を計画的に実施します。事故防止の取り組みは、業者による設備点検及び、設備管理者による日常的な点検(異音、動きの変化等)を確認します。事故及びリスクの高い事柄は、法人リスクマネジメント委員会にも報告し再発防止に努めます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1.2、事業対象者と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成し、作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるような明確な目標設定を行い、行動意欲を高め、本人の主体性を尊重します。また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行います。	ご利用者の気持ちに寄り添い、自分らしい生活が続けられるよう支援します。多様なニーズに応えられるよう、地域のサービス事業所・医療機関・ボランティア団体等との連携を図り、公正中立な支援が行えるように努めます。
	介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについては、原則として利用者の負担はありません。事業所の担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)を請求します。	事業実施地域である旭区・泉区・瀬谷区を超えて指定居宅介護支援を行う場合には、それに要した公共交通機関利用料金の実費又は自動車を使用した場合片道1km毎に30円の交通費を請求します。
職員体制	管理者 保健師等 1名(常勤兼務) 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務)	管理者は常勤兼務(当該事業所の居宅介護支援と兼務)の主任介護支援専門員を配置。常勤専従の介護支援専門員2名。
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

利用 料金 ・ 実費 負担			
職員 体制			
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,351,920		19,351,920		19,351,920	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	19,351,920	0	19,351,920	0	19,351,920	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,851,210	0	10,851,210	0	10,851,210	
本俸	8,496,210		8,496,210		8,496,210	
社会保険料	710,000		710,000		710,000	
手当計	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	35,000		35,000		35,000	
その他	70,000		70,000		70,000	
事務費	2,616,431	0	2,616,431	0	2,616,431	
旅費	40,000		40,000		40,000	
消耗品費	735,871		735,871		735,871	
会議随費			0		0	
印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
通信費	600,000		600,000		600,000	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他			0		0	
備品購入費	400,000		400,000		400,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	40,000		40,000		40,000	
振込手数料			0		0	
リース料	60,000		60,000		60,000	
手数料	100,000		100,000		100,000	
地域協力費			0		0	
その他	600,000		600,000		600,000	
事業費	937,667	0	937,667	0	937,667	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	895,667		895,667		895,667	
その他			0		0	
管理費	3,387,491	0	3,387,491	0	3,387,491	
光熱水費	2,568,491		2,568,491		2,568,491	
清掃費	210,000		210,000		210,000	
機械警備費			0		0	
設備保全費	309,000	0	309,000	0	309,000	
空調衛生設備保守	20,000		20,000		20,000	
消防設備保守	22,000		22,000		22,000	
電気設備保守	165,000		165,000		165,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費	72,000		72,000		72,000	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	1,085,121	0	1,085,121	0	1,085,121	
事業所税			0		0	
消費税	1,085,121		1,085,121		1,085,121	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,351,920	0	19,351,920	0	19,351,920	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	895,667	0	895,667	0	895,667	
自主事業 収支	△ 895,667	0	△ 895,667	0	△ 895,667	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
 収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,490,657		23,490,657		23,490,657	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,801,509		5,801,509		5,801,509	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			1,456,000		1,456,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代						
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,456,000		1,456,000		1,456,000	利用料金収支1,156,000円、チームオレンジ300,000円
収入合計	30,902,166	0	30,902,166	0	30,902,166	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,941,591	0	26,941,591	0	26,941,591	
本俸	15,656,591		15,656,591		15,656,591	
社会保険料	3,500,000		3,500,000		3,500,000	
手当計	7,000,000		7,000,000		7,000,000	
健康診断費	30,000		30,000		30,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	505,000		505,000		505,000	
その他	250,000		250,000		250,000	
事務費	1,425,824	0	1,425,824	0	1,425,824	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	300,000		300,000		300,000	
会議ठीい費			0		0	
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
通信費	70,000		70,000		70,000	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他			0		0	
備品購入費	300,000		300,000		300,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	40,000		40,000		40,000	
振込手数料	15,000		15,000		15,000	
リース料	50,000		50,000		50,000	
手数料	40,000		40,000		40,000	
地域協力費			0		0	
その他	570,264		570,264		570,264	
事業費	1,508,279	0	1,508,279	0	1,508,279	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	109,279		109,279		109,279	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
その他	300,000		300,000		300,000	チームオレンジ
管理費	900,472	0	900,472	0	900,472	
光熱水費	686,472		686,472		686,472	
清掃費	55,000		55,000		55,000	
機械警備費			0		0	
設備保全費	89,000	0	89,000	0	89,000	
空調衛生設備保守	5,000		5,000		5,000	
消防設備保守	6,000		6,000		6,000	
電気設備保守	50,000		50,000		50,000	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000		8,000	
駐車場設備保全費	20,000		20,000		20,000	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	70,000		70,000		70,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	30,902,166	0	30,902,166	0	30,902,166	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	578,279	0	578,279	0	578,279
自主事業 収支	△ 578,279	0	△ 578,279	0	△ 578,279

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				3,900		3,900	17,770		17,770			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	3,900	0	3,900	17,770	0	17,770	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	13,000		13,000			0			0
	事務費			0	234		234	500		500			0			0
	事業費			0			0	50		50			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	234	0	234	13,550	0	13,550	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	3,666	0	3,666	4,220	0	4,220	0	0	0	0	0	0

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	シニアサポーターひまわり	平成25年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地域活動の介護予防ボランティアの一員として活動できるスキルを学ぶことで、自分たちの生きがいや地域の担い手になっていく気持ちが育つように、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが協働して支援を行います。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」継続支援に向けて、活動内容や自分たちに出ている介護予防普及啓発活動を身に付けていけるよう継続支援していきます。また、介護予防教室開催に向けて、ボランティア活動ができるスキルが身に付くよう支援していきます。 勉強会年4回程度 活動月4回程度		
2	免疫力アップ教室	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍の中、外出の機会が少なくなり、高齢者の多くがフレイル状態に陥っています。運動の機会を持つと共に栄養や口腔機能の維持改善の重要性も学べる教室を開催します。また、教室に参加することで、地域の方との交流も深めていただけたらと思っています。	1:高齢者	5	令和3年度に引き続き免疫力アップ教室を開催する。ゆるく体を動かす運動から、運動習慣が身に付く教室を目指します。運動、栄養、口腔機能向上だけではなく、笑いヨガを取り入れ心身共にリフレッシュしていただきながら体調を整え、免疫力のアップに繋がるよう学んでいただきます。全7回5月から12月(8月を除く)		
3	ウォーキングで筋活	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の特徴として坂道が多く、下肢筋力が低下すると外出することが難しくなります。いつまでもご自身の足で歩き、生活が楽しめるよう、歩くことで下肢筋力のアップに繋がる歩き方を学んでいただきます。	1:高齢者	5	姿勢を整えるところから学び、歩くことで下肢筋力だけでなく全身の筋力アップを行い、健康寿命を延ばす運動の機会とします。毎日の歩行が筋力の機会となるよう歩行の仕方学ぶ教室です。		
4	元気づくりステーション「南希の森」	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルサービスとして根付いていよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っていきます。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週火曜日10時～11時		
5	元気づくりステーション「ヒルズのわ」	平成27年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルサービスとして根付いていよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っていきます。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「ヒルズのわ」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日10時～11時		
6	元気づくりステーション「ホープの友」	平成28年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルサービスとして根付いていよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っていきます。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「ホープの友」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日14時～15時半		
7	元気づくりステーション「中の原の和」	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルサービスとして根付いていよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っていきます。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「中の原の和」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。第1・3月曜日14時～15時		
8	介護者の集い	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護者を対象に、施設協力医のアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、介護に役立つ情報の提供、介護の悩みや疲れを共有できる場づくりを目的とします。	5:地域		介護者同士の交流や情報交換を行い、介護者の精神的負担の軽減、介護者の心の支えとなれる場づくりを行っていきます。奇数月第2水曜日、年6回実施		
9	認知症ビデオ上映会	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症についての当事者の視点を学び、我が事として捉える機会を提供するとともに、認知症について共有し合える定期的な場を形成し、地域において認知症啓発の意識を醸成していきます。	5:地域		認知症当事者やその家族等についてのビデオを視聴し、その内容についての意見交換や認知症に関わる事柄についての情報交換を行います。偶数月第2土曜日、年5回実施。		
10	無料法律相談	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対し、成年後見制度の手続きや遺言作成、相続問題等について法律の専門職の支援を身近に受けることができる機会を提供すると共に、ケアプラザと権利擁護機関との連携を強化することを目的とします。	5:地域		司法書士の先生による無料の個別法律相談を実施していきます。奇数月第2水曜日 年6回実施		
11	認知症講座(講演会)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の実情を知り、地域住民が地域の問題として捉えることができるよう、認知症についての正しい理解の普及・啓発を目的とします。	5:地域		認知症の早期発見と予防について、認知症の実情を踏まえ、ケアプラザ協力医による講座を実施します。年1回実施 10月		
12	旭区版エンディングノート活用講座	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	旭区版エンディングノートを一緒に書いていく過程を通して、これまでの生活を振り返り、これからの生活を安心して豊かに過ごせるようサポートしていくことを目的とします。	5:地域	1	旭区版エンディングノートの書き方の説明に合わせて、健康寿命・介護保険制度・成年後見制度・葬儀・相続・お墓等についても触れ、ノートの理解を深めたくうえで、ノートを完成させていきます。年2回実施		
13	消費者被害防止講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民が、頻発している振り込め詐欺等の悪質商法被害の実態を理解し、被害にあわないための知識、解決のポイントを学び、被害防止ができることを目的とします。	1:高齢者	5	消費生活総合センターの職員に講師を依頼し、消費者被害防止について講義を行います。年1回実施		
14	認知症サポーター養成講座	平成21年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域において、認知症についての理解を深め、認知症サポーターを少しでも増やすことで、認知症の方が安心して暮らせるまちづくりを推進していくことを目的とします。	5:地域		講話やグループワーク・体験談等を通して認知症への理解を深めてもらうと共に、地域資源の紹介等を通じ、地域のサポーターとして認知症を支える取り組みを身近なものとして行えるようにしていきます。年2回実施		

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	希望が丘南地区ジュニアボランティア養成講座	平成27年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	希望が丘南地区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割や高齢者・認知症についての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげることを目的とします。	4: 子ども・青少年		福祉に対する理解を深めるため、高齢者や認知症についての講義の実施や福祉体験を実施します。年1回実施 8月		
16	希望が丘地区ジュニアボランティア養成講座	平成27年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	希望が丘地区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割や高齢者・認知症についての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげることを目的とします。	4: 子ども・青少年		福祉に対する理解を深めるため、高齢者や認知症についての講義の実施や福祉体験を実施します。年1回実施 8月		
17	ミ・ディ	平成21年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	ハンドベルや工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会などの介護予防の要素を盛り込んだ事業への月に1回程度の参加を通して、高齢者の閉じこもりを防止し、仲間づくりの機会にすることを目的とします。	1: 高齢者		季節にちなんだテーマに沿って、音楽活動や工作活動、体操およびレクリエーション活動、外出レクを行い、閉じこもり防止と外出の機会、他者交流の機会の提供・介護予防に取組んでいきます。毎月第2月曜日(8月除く)年11回実施。		
18	希望が丘南地区買い物支援プロジェクト	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	買い物する場所が遠く、また免許返納などで買い物に困難なエリアの方達が少しでも外出でき、目で見て買い物できる機会を増やすとともに、地域のコミュニティの場となるような活動を地域住民とともに目指します。	5: 地域		移動販売開始から1年半が経ち、地域主体の活動となっている。新しい業者の開拓などについて、定期的に話し合いの場を持ち、地域に根差した活動となるよう引き続き支援する。		
19	希望が丘地区地域でちよつとした困りごとについて考える	令和元年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	地域住民からのちよつとした困りごと、一人暮らし高齢者の孤立化などの課題を提案し、地域で考え、地域住民が課題解決に向けての活動の創生を目指すことを目的とします。	5: 地域		今までに行った地域福祉のアンケート結果から読み取れる課題について地域に働きかけ、話し合いの場や地域フォーラムなどを開催し、協議体へと発展させる。		
20	ステップ1・2希望の風	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	介護予防の啓発、集いの場の運営など地域の担い手としての活躍や、社会参加の場の提供を目的として一昨年度創設したスクエアステップ(介護予防・認知症予防)のボランティア団体の活動の支援、活動の場の提供を行います。	5: 地域		「みんなの集いの場」の運営、生活支援・介護予防補助事業サービスBの登録団体である希望カフェの活動支援等の活動の充実を目的とし、ミーティングや勉強会を開催します。 ●ミーティング(年6回) ●活動月2回程度 ●希望カフェ支援(月1回)		
21	ミュージックボランティア音楽る	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢者の集う場所やサロン、また子供たちの集う場所などで「音楽で地域を元気に」を目的として一昨年度創設したミュージックボランティア。地域の担い手として、また社会参加のきっかけづくりとして、引き続き活躍の場の提供、活動の支援を行います。地域とボランティアの連携も図ります。	5: 地域		新しい生活様式をふまえ、何ができるかを、ボランティアの皆さんと考え、決定した活動の支援、活動を充実させるためのミーティングや勉強会を開催します。Zoomを活用したミーティングを行う。 ●ミーティング 毎月第1又は第2月曜日 ●活動 月2回程度		
22	オンラインうたごえ「音楽る」	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	ミュージックボランティア音楽るを中心に、コロナ禍で外出が難しい地域住民へ向け、社会参加の場を目的とし、世代や地域を超えた交流の場の提供を行います。	5: 地域		Zoomを活用しオンラインでうたごえ音楽るを開催する。ボランティア自身の社会参加、参加者との交流の場となり、同じ場を共有することでつながりを感じられる場とする。毎月第4月曜日		
23	旭区ちよこつとボランティア連絡会	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	生活支援体制整備事業の啓発をふまえ、事業の目的の1つである「生活支援」サービスの充実を図るため、旭区生活支援コーディネーター全体旭区内で活動するちよこつとボランティアの団体に働きかける。	5: 地域	6	旭区生活支援コーディネーターと協働して旭区エリア内での旭区ちよこつとボランティア連絡会を開催します。コロナ禍についての活動の実態調査なども行う。旭区エリア内 開催回数は未定		
24	希望が丘南地区ボランティアネットの会	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	地域には子育て、障害児・者、高齢者などさまざまな分野での困りごとをサポートするボランティア団体が多くある。地域共生社会を目指すため、分野をこえた課題共有の場やお互いの情報共有の場となる協議の場を設ける。	5: 地域	6	希望が丘南地区社協と共催し、希望が丘南地区の子育て、障害、高齢分野での活動団体に出席してもらい連絡会を開催する。地域の活動団体間の情報共有や課題共有の場をつくり、ネットワークの構築を目指す。年3回程度(不定期)		
25	みんなの集いの場	平成30年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	自治会館などエリアが確定されてしまう場所ではなく、誰もがどこからでも参加できる場所である教会(付属の幼児園)の集会室が中心となり、誰もが気軽に参加できる目的でたちあげた「みんなの集いの場」。コロナ禍において活動場所を2つの公園へと移し、誰もが参加しやすい活動となるよう支援する。	1: 高齢者	3, 4, 5	ステップ1・2希望の風とこーヒーボランティアが中心となり、身近な場所で集まり、気軽に運動できる集いの場の運営・活動を支援してまいります。毎月第2・第4火曜日 10時～11時		
26	認知症&予防カフェ みなとの茶店 きっさブルメリア 支援	平成29年度	6: 共催(2と3)	2: 発展させるねらい	「きぼうタウンプロジェクト」の取組として立ち上がった2か所の認知症&予防カフェにおいて認知症への理解・啓発を連携して行うことを目的とします。	1: 高齢者	5	「みなとの茶店」と「きっさブルメリア」の後方支援として、運営支援、活動支援を引き続き行います。 みなとの茶店 毎月第3水曜日 14:30～15:30 きっさブルメリア 毎月第3日曜日 14:00～15:00		
27	生活支援・介護予防補助事業 サービスB 希望カフェ 支援	平成30年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	生活支援・介護予防補助事業サービスB(通所支援)の取組に手を挙げた希望が丘南地区会中にあるコミュニティカフェ「希望カフェ」の活動支援を行い、旭区役所、旭区社協と連携しながら事業を円滑に進められるよう、また、地域に根差した活動となれるよう、支援を行います。	6: 事業者	5	事業の理解を深めてもらうため、スタッフ向けの勉強会の開催、介護予防プログラムへのボランティア派遣、地域とのネットワークの構築等、活動に向けての支援を継続して行います。介護予防プログラム活動支援 第2水曜 13:30～ 定例会・勉強会 年3回程度実施		
28	スマホ・パソコン活用講座 よろず相談	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍において、交流の場が減少し、コミュニケーションをとることが難しくなっている。パソコンやスマホの使用を苦手と考えている高齢者に向け、情報を自分から取りにいたり、交流を深める手段としてICTを活用できるような講座の開催を行う。	1: 高齢者		主に高齢者を対象にICT活用講座を開催する。ICTが得意な地域のボランティア団体や専門学校生などと連携して、開催の仕方などを考える。年2回程度(ケアプラザ、地区センターなど)		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
29	南希！演芸座	令和3年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	コロナ禍において、頑張ってきた活動の成果や取組を発表することが世代を問わず難しくなった状況において、この2年間でできなかったことをケアプラザの場を貸ステージとして利用してもらい、大切な人へ思いを伝える場として活用してもらおう。	5：地域		子供から大人まで誰もが利用できるステージとして活用してもらい、ステージに立つ側と参加する側にとってゆるやかな交流の場となるよう開催する。(利用したい方がいたときに開催)不定期		
30	横浜市チームオレンジモデル事業	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、ケアプラザ5職種がコーディネーター機能を活かし、地域とともにチームオレンジを作る。令和5年度の2年間で取り組みを行う。	5：地域		チームオレンジへの働きかけ(説明会)、「認知症サポーター養成ステップアップ講座」の開催、チームオレンジ立ち上げ後の協議の場(協議体)など、様々な取り組みを5職種で連携し、地域住民と行う。		
31	サステナブルな生活とは？(仮)	令和4年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域へのSDGsの取り組みへの働きかけを希望が丘南地区の消費生活推進員、環境事業推進委員、保健活動推進員と共催で開催。	5：地域		SDGsの先進国であるスウェーデンの方を講師にむかえ、サステナブルな生活を紹介してもらい、地域でできることは何か、住みやすい地域にどうやっていくかを考える。		
32	子育てサロン mam-mam	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	0歳児から未就園児の親子を対象に親子の交流の場と、ママ同士の交流、ヨガをすることでママのリフレッシュの機会とすることを目的とします。	3：養育者及び乳幼児		・前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。 ・イベントや行政との共催事業なども行います。 ・地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、子どもの見守りのボランティアをしていただきます。 ・年10回 毎月第1木曜日9時30分～11時		
33	親子のフリースペース	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的とします。	3：養育者及び乳幼児		・親子のフリースペースとして多目的室を開放します。 ・年12回 毎月第3月曜日9時30分～11時		
34	みんなの学習室	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	夜間帯の貸館の有効活用と、地域の方や中学生の学習する場や居場所の提供を目的とします。	5：地域		・地域ケアルームとボランティアルームを学習室として開放します。 ・コロナ感染拡大防止の観点から事前予約制とします。 ・毎月第1第3火曜日および第2第4月曜日18時～20時		
35	ふらっとサロン	平成21年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域住民に交流の場と、ボランティア活動の場を提供することを目的とします。	5：地域		・現在はコロナ感染拡大防止の観点から飲み物のみ提供しています。 ・食べ物については、コロナの状況を見つつ再開予定です。 ・ケアプラザ新聞やチラシ等で広く周知を行い、小さいお子さん連れや、障害のある方にも参加していただけるよう実施します。 ・毎月第2日曜日13時～15時開催。		
36	ゆったり体操教室	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	既存の体操教室に参加が難しい高齢者の介護予防を目的とします。	1：高齢者		・イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分行います。 ・年24回毎月第2第4水曜日		
37	登録団体説明会	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザを利用されている団体向けに、部屋貸し利用についてや、緊急時の避難経路について理解を図ることを目的とします。	5：地域		・貸館の申込みや利用方法、緊急時避難経路、福祉保健活動について説明を行います。 ・日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けます。 ・年1回		
38	ボランティアの集い	平成21年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	ケアプラザ事業等で活動されているボランティアを対象に、日頃の活動の感謝を伝えと共に、ボランティア同士の交流を目的とします。	5：地域		・様々な事業等で活動されているボランティア同士の交流が図れるよう実施します。 ・ボランティアに関わる職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。 ・年1回		
39	みんなで大掃除会	平成21年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	登録団体の区分Ⅱの団体を対象に、福祉保健活動の活動の場を提供することを目的とします。	5：地域		・日頃使用している部屋の清掃をしていただきます。 ・調理室を利用している団体には調理室を清掃してもらいます。 ・年1回 12月		
40	ケアプラザ祭り	平成23年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	日頃の感謝の気持ちを込めて開催します。ケアプラザを利用していない地域の方にも、ケアプラザに足を運んでいただき、ケアプラザを知っていただくことを目的とします。	5：地域		・子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、障害事業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けます。 ・ボランティア活動の場の提供を行います。 ・年1回 10月15日予定。		
41	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成23年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	65歳以上の方を対象に、ボランティア活動や地域活動への参加のきっかけづくりを目的とします。	1：高齢者		・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を実施します。 ・ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始める方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行います。 ・年1回 3月		
42	きぼうファーム	平成28年度	7 共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、地域福祉保健計画の取組の一環として実施します。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的とします。	2：障害児・者		・障害児者余暇支援事業として、野菜の収穫祭、わくわくスポーツ会などを実施します。 ・年3回 6月、11月、1月		

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
43	障害理解講座	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害について多くの地域住民に知っていただき、啓発を行う事を目的とします。	5:地域		講師を招いて「障害の理解と関わり方」について講演を行います。 年1回		
44	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展事業	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	来場しているお客様に地域ケアプラザについて知る機会を作ります。	5:地域		・ケアプラザ機能の周知。 ・旭区13ケアプラザで協力し事業の紹介等実施します。		
45	わくわく子どもクッキング	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のお子様や親子を対象に余暇支援として、食育の観点から、作る楽しみを感じ達成感と自身で作ったお菓子を楽しむことを目的とします。	4:子ども・青少年		・お菓子作りの前に、材料や作る工程を説明し講師の指導ですべて一緒に作ります。 ・コロナ感染拡大防止の為、現在中止していますが、コロナの状況を見つつ再開予定です。		
46	えほんとわらべうたのひろば	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のボランティアや他の親子とつながることで、育児中の孤立感を軽減させることを目的とする。	3:養育者及び乳幼児		わらべ歌を歌いながらのスキンシップや絵本を通し親子の心と体のふれあいを楽しんでもらいます。毎月第4水曜日開催。		
47	つながろうプロジェクト 南希望が丘ケアプラザエリア	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害のある方が地域で安心して生活できるまちづくりに向けて、地域住民と障がいのある方との相互理解を深めることを目的とする。	2:障害児・者	5	地域の代表者・エリアにある障害事業所の代表者・社協の会長・民児協の会長が集まり、お互いの抱える問題や課題について情報の共有を行い、障害のある当事者の講演会や、障害の作業所の見学などを実施します。 年2～3回開催(不定期)		
48	南希望が丘地域ケアプラザ エリア域防災拠点連絡会	平成30年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ケアプラザのエリアにある3つの地域防災拠点と連携して、災害時における障害児者の防災拠点での受け入れや、対応方法について具体的な取組や仕組みづくりを行うことを目的とします。	5:地域		・地域防災拠点や地域の関係団体と連携して、課題の共有や検討を行い、具体的な取組や仕組みづくりにつなげます。 ・避難所ヘルプカードの具体的な活用について地域住民と共に考え取り組みます。 ・不定期		
49	「こどもの居場所」とは？ おしゃべり座談会	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	「こどもの居場所かけはし」を開催していくにあたりボランティアとして参加してくれる地域住民を募ることを目的としています。また、かけはしの活動内容を広く地域に発信していくことで地域住民に関心を持ってもらうことも目的としています。	5:地域		一般社団法人かけはし代表の廣瀬先生に講師を依頼し、開催します。この地域に不登校の子供がいるという現状や居場所の必要がある子どもの実態、かけはしの活動内容を発信していく場とします。不定期開催。		
50	こどもの居場所かけはし	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	不登校の小学生・中学生を対象に、学校にも家庭にも居場所がないと感じる子どもたちが、安心して過ごせる場の提供を目的としています。	4:子ども・青少年		一般社団法人かけはし代表の廣瀬先生に来ていただき、地域のボランティアと共に、不登校の子供たちの居場所としてケアプラザの場を提供します。ボランティアと関わることで、子ども達が自己肯定感を感じられる経験を積み重ねていきます。毎月第1、第3火曜日開催。		
51	こども薬剤師体験	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の小学生を対象として薬に対する正しい知識を持つことと、将来の仕事の一つとして「薬剤師」という仕事があることを知る機会とします。また保護者の方にもケアプラザを知って頂くきっかけとします。	4:子ども・青少年		旭区薬剤師会との共催により、薬剤師と大学院生により開催します。多様な実験を含んだ講義により、小学生が薬に対して興味や正しい知識を得られる場とします。 年1回。		